



2012 年 8 月 28 日

板橋区
区長 坂本 健 様

武蔵野美術大学
工芸工業デザイン学科 教授 中原俊三郎 
TEL: 042-342-6058

株式会社イセキ
代表取締役社長 井関吉和 
TEL: 03-6225-2890

板橋区木戸生態環境館による指導依頼について

武蔵野美術大学と株式会社イセキは、東京都が実施しております「平成24年度産学連携デザインイノベーション事業」プロジェクトに参画し、「在来種マルハナバチの生態環境のデザイン」をテーマに国産養蜂箱の開発に取り組んでおります。

マルハナバチのハウス栽培での受粉活動は、私達の食卓に「安心・安全で良品質な農作物」を提供してくれる大きな担い手となっておりますが、受粉活動に必要な養蜂箱は海外から輸入されているものが殆どで、日本農家にとって使い勝手が良いとは云えず、国産の養蜂箱の開発が待たれております。

当プロジェクトはこのような状況下、バイオプラスチックを使用した環境配慮型の国産養蜂箱の開発に取り組んでおります。

つきましては、国産養蜂箱の開発に当たり、在来種マルハナバチの研究・飼育に長く且つ深く取り組まれている、板橋区木戸生態環境館様のご指導が必須でありますので、下記の内容に関しまして是非ともご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

- 記 -

1. 養蜂箱の仕様に関するアドバイス
2. 養蜂箱を使用した蜂生態実験と評価

以上

10
1
2